

○調査結果の概要

1. 貿易企業の概要

・貿易実績のある企業 230 社

2021 年(暦年)における輸出企業は 175 社(前年 171 社)、輸入企業は 110 社(同 117 社)、これらのうちで輸出入ともに行っている企業は 55 社(同 60 社)で貿易企業は 230 社(同 228 社)となった。

所在地別では、松江市が 67 社と最も多く、続いて出雲市 58 社、浜田市 22 社の順となった。

2. 貿易実績

・島根県の 2021 年貿易額は 4,667 億円

県内企業の 2021 年(暦年)の貿易額(輸出入額)は 4,667 億円(前年 3,601 億円)であり、前年比 29.6%の増加となった。

輸出額 3,406 億円(前年 2,777 億円)に対し、輸入額は 1,261 億円(前年 823 億円)となっており、2,145 億円の輸出超過(前年は 1,954 億円の輸出超過)となった。

(1) 輸出の実績

・輸出額は 3,406 億円 輸出全体の 79.1%が機械、電気機器及び同製品並びに部分品

2021 年(暦年)の県内企業の輸出額は 3,406 億円(前年 2,777 億円)であり、対前年比で 22.7%の増加となった。

輸出品目別では、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が 2,693 億円(構成比 79.1%)と最も多く、次いで「卑金属及び同製品」が 481 億円(同 14.1%)となっており、両品目で輸出全体の 93.2%を占めた。地域別では、アジアが 620 億円(構成比 18.2%)、ヨーロッパが 485 億円(同 14.2%)、北アメリカが 160 億円(同 4.7%)となっており、この三地域で全体の 37.1%を占めている。国別輸出額でみるとドイツが 363 億円(構成比 10.7%)、中国が 196 億円(同 5.8%)、韓国が 150 億円(同 4.4%)、アメリカ合衆国が 142 億円(同 4.2%)となっている。

輸出形態では、直接輸出が 518 億円(構成比 15.2%)、間接輸出が 2,888 億円(同 84.8%)となっており間接輸出の割合が高くなっている。

輸出の積出港をみると、最も多かったのは関西地域で全体の 29.9%、次いでその他の地域が 3.7%と続いている。なお山陰地方の港の積出は、浜田港が 0.4%、境港が 0.3%となっている。

(2) 輸入の実績

・輸入額は1,261億円 鉱物性生産品と機械、電気機器及び同製品並びに部分品の両品目で輸入全体の58.4%

2021年(暦年)の県内企業の輸入額は1,261億円(前年823億円)であり、対前年比で53.1%の増加となった。

輸入を品目別にみると、「鉱物性生産品」が390億円(構成比30.9%)と最も多く、次いで「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が347億円(同27.5%)、「卑金属及び同製品」が223億円(同17.7%)となっている。地域別では、アジアが722億円(構成比57.3%)と最も多く、オセアニアが235億円(同18.7%)、ヨーロッパが81億円(同6.4%)と続いている。国別輸入額でみると、中国が489億円(構成比38.8%)、オーストラリアが231億円(同18.3%)、インドネシアが106億円(同8.4%)、カナダが49億円(同3.9%)となっている。

輸入形態は、直接輸入が532億円(同42.2%)、間接輸入が730億円(同57.8%)となっており、間接輸入の割合が高かった。

輸入を荷揚港別にみると、最も多かったのは関西地域で全体の41.2%を占めた。なお、山陰地方の港の荷揚げは、三隅港28.8%、境港6.4%、浜田港5.1%となっている。

3. 海外直接投資及び外国企業との提携

・投資先は中国とタイが10件、提携先は中国が最多の18件

海外への投資案件は全体で24社32件となっており、投資先を国別にみると、中国とタイがともに10件となっており、地域別でみるとアジア全体で84.4%を占めている。

形態別では、独資16件、合併8件、駐在員事務所6件、支店1件、その他が1件となっている。

県内企業の外国企業との提携は全体で26社68件あり、提携先を国別にみると、中国が18件(構成比26.5%)と最も多く、次いで韓国が7件となっている。地域別にみると、アジアが52件で76.5%を占め、ヨーロッパが8件で11.8%、北アメリカが5件で7.4%となっている。

形態別では、販売代理店契約41件、委託加工貿易18件、技術供与4件、技術導入1件となっている。